

## 議会の動き 鳥栖市議会・基山町議会との合同研修会

### 国家戦略特区について

本年3月30日、鳥栖市議会、基山町議会と小郡市議会の合同研修会が開催されました。講師である鳥栖市の安東副市長から鳥栖市が提案した国家戦略特区の内容について、詳しく説明を受けました。全国でただ一つのクローバー型ジャンクションである鳥栖インターチェンジをもつこの地域の活性化を目指した提案です。

下の地図に示したように鳥栖インターチェンジを中心としたおおむね半径4キロの範囲内を「特別区」とし、産業誘致に欠かせない「農地転用」を進めようというものです。これまでは優良農地の転用は基本的にできないとされてきましたので、この特区構想は地域活性化に大きな可能性を与えてくれます。単に産業誘致を行うだけでなく、農地集積化や農業振興のために産業誘致で得られる財源を活用する提案もなされていますので、農業を基幹産業とする本市にとっても魅力的な提案でした。

本市では現在小郡インターチェンジ周辺で開発が進められていますが、残念ながらそれ以外の地域での開発は進んでいません。地図上、黄緑色で示した部分はこの特区構想に入る本市西部地区となります。



ます。この西部地区はマスタープランでも開発を進める地区として示されていますが、具体的な開発の動きはまだありません。そのため、今回の国家戦略特区の提案はまさに本市にとっても重要な意味を持ちますので、議会としてもその提案に大きな関心を持つていました。

その後、残念ながら鳥栖市単独での提案は採択されませんでした。が、県境を越えた連携として鳥栖市と本市の協議が行われ、共同提案という形で新たに「戦略特区構想」を総務省に再度申請をする事となりました。

3月の合同研修会資料より

## 仮議場で審議始まる

交通の要衝という地の利を活かし、「地方創生」に大きな成果が期待できるものと考えますので、議会としてもこの提案の採択に向け執行部と歩調を合わせて取り組みます。



### 仮庁舎へ議会も移転

5月号でお知らせしておりますとおり、本庁舎耐震工事期間中の本年12月末まで議会も東野小学校隣にある元九州情報大学へ移転しています。議場は大講義室（階段教室）を利用し、傍聴席は教室後方となっています。

本会議中継と委員会中継は従来通り実施していますが、臨時の設備です。本会議の状況は質問者や答弁者にズームをすることができません。ホームビデオカメラで全景を映すのみとなり、質問者や答弁者の表情までは分かりません。

が、ご了承願います。また常任委員会用の部屋がありませんので、本会議場の机の配置を変更して常任委員会を行っています。駐車場は十分な広さがありますので、議会傍聴にも是非お気軽においで下さい。



常任委員会配置



本会議場配置